

墓前追悼式典における長谷川暁子さんご挨拶

佳木斯市政府李長義主任、訪問団山本恒人団長、お二人から頂きました「長谷川テル（緑川英子）と劉仁」追悼のご挨拶、誠に有難うございます。本日の追悼式典のもつ意義および日中不再戦・永遠の平和友好の誓いは、お二人のお言葉に存分に尽くされております。

今、私が母テルと父の墓碑を清めておりましたとき、心の中に響いて参りました母長谷川テルの言葉を皆さまにお伝えいたしたいと存じます。

母テルの言葉です。

「日本からはるばるこの地を訪れていただいた祖国日本の皆さま。私がどんなに嬉しい気持ちでおりますか、またどんなに感動いたしておりますか、言葉に尽くせないほどでございます。これほど日中友好の気高いお気持ちに溢れ、またこれほど私に思いを馳せて下さっていることに、大きな慰めと勇気とをいただきました。暁子、あなたを迎え入れて下さった日本の方々のご好意、そして中国政府のご誠意、また佳木斯市政府の日常お世話いただいているご努力、決して忘れてはなりませんよ。

とくに中国の政府と人民に育てられたご恩に心してくださいね。たとえ、あなた自身が微力であったとしても、たとえ日中の際にいくつかの壁が立ちはだかることがあったとしても、勇気と信念を失わないように願っております。時の流れは矢の如くと言いますが、あなたも古稀を迎えるのですね。たとえ、これまでのようにこの地を訪れることができなくなったとしても心配はいりません。佳木斯市政府の方々も、中国の人々も私たちのことをこれほど気にかけてくれているのですから。」

皆さまのご恩に報い、日本と中国の娘として、未来をみつめて人生を全うすること、母は心から願っております。皆さま、本日は有難うございました。